J-STAGEジャーナルコンサルティング

～J-STAGE登載誌の質向上に向けて～

平成31年3月15日

知識基盤情報部

科学技術振興機構

J-STAGE登載誌の質向上に向けての取り組み

（ジャーナルの質向上にあたっての課題）

- 投稿数の増加
- 閲覧数・引用数の増加
- 編集体制の強化
- Webページの改善
- マーケティング
- オープンアクセス　など

J-STAGE事業では、電子ジャーナルの発信・流通を推進するプラットフォーム整備に加えて、ジャーナル発行母体である学協会との連携を強化し、登載誌の質向上に取り組む

コンサルティングの内容及びテーマ

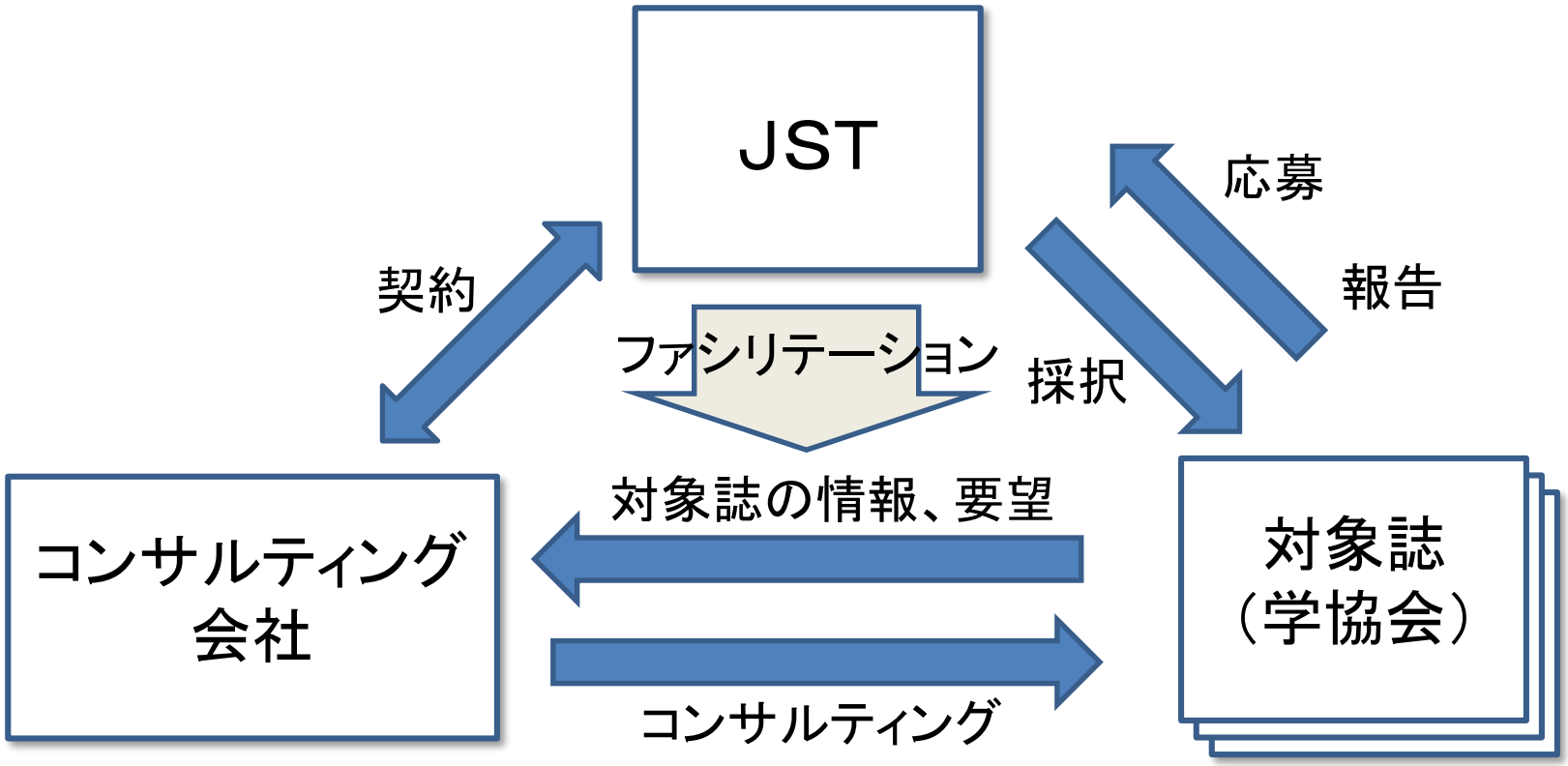
内容

JST及びJSTが委託する海外のコンサルティング会社により、J-STAGE登載誌の質向上を目指す利用機関に対して、個別事情を踏まえたコンサルティングを行い、ジャーナルの質向上のための課題解決に向けた協力を行う。

テーマ

- オープンアクセス
  ドキュメント整備、APC試算、CCライセンス、DOAJ収載　等
- 国際発信力強化
  投稿数／閲覧数増加、DB等への収録、編集委員会の国際化、Webページの充実、マーケティング　等
- その他
  JSTと協議の上で決定した事項

コンサルティング実施体制



（経営戦略、ブランディングに関する助言等）

コンサルティングの進め方

ステップ

① 対象誌の現状分析と評価

② 現状分析・評価に基づく、学協会との協議を踏まえた、対象誌の質向上を目指して実施する内容の優先順位付け

③ 優先順位付けに基づく実施内容の確定と実施

④ 本コンサルティング終了後の継続的な効果の把握と分析（次年度以降）

パイロットプロジェクトでの対象誌（学協会）

◆ **2017年度**

- Biological and Pharmaceutical Bulletin（日本薬学会）
- Food Science and Technology Research（日本食品科学工学会）

◆ **2018年度**

- Biological and Pharmaceutical Bulletin（日本薬学会）
- Journal of Water and Environment Technology（日本水環境学会）
- Progress in Rehabilitation Medicine（日本リハビリテーション医学会）
- Journal of Proteome Data and Methods（日本プロテオーム学会）

パイロットプロジェクトでの実施事例

(1) 経営戦略に関する支援

- 発行機関及び対象誌に対する現状分析
- APC（Article Processing Charge）の導入に向けた試算
- Editorial Boardの国際化に関する助言
- 新規ジャーナルの創刊に向けた助言

(2) ブランディングに関する支援

- Aims and Scopeや Instruction to Authors等のドキュメント整備
- CC（Creative Commons）ライセンスの導入に向けた助言
- Impact Factor取得に向けた助言
- PubMed収載に向けた助言
- DOAJ（一定基準以上のOA誌リスト）収載に向けた助言

2019年度の計画(１)

(1) ジャーナルコンサルティング(継続)

◆ 対象:英文誌・和英混在誌

◆ 実施者:コンサルティング会社及びJST

◆ 規模:4誌程度

◆ 期間:1年度(場合によっては2年度継続)

◆ 実施内容

ジャーナルの質向上及び国際発進力強化をテーマに、OA化、Instruction to Authors(ITA)やAims and Scopeの改善、投稿数や閲覧数の向上に向けたマーケティング等を実施

2019年度の計画(２)

(2) ジャーナルの質向上に向けたミニセミナー(新規)

◆ 対象：英文誌・和文誌を含む全ジャーナルの編集長、編集委員、
出版実務担当者(事務局)

◆ 講師：JST

◆ 規模：8誌(英文誌・和英混在誌5誌＋和文誌3誌)程度/回
年2回程度開催(8月、11月開催予定)

◆ 実施内容

- OAやCCライセンス等の概要・事例紹介
- 評価シートを用いたジャーナル診断
- Instruction to Authors(ITA)等の標準ドキュメントの紹介
- DOAJ等のDBへの収載基準や申請方法の紹介

アンケートのお願い

- J-STAGE登載誌でジャーナルコンサルティングやミニセミナーへの参加をご希望される場合は、ジャーナルコンサルティングについてのアンケートにて、その旨をご回答ください。
- また、ジャーナルの状況についてもお聞かせくださいますようお願いいたします。